

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

1 学年・教科 1年生 図工

2 単元名 「おもしろい かたち いっぱい」

3 実践者（所属） 加藤 愛 （川崎市立下沼部小学校）

4 活動を始める前に

(1) 準備するもの

○ プロジェクター ○教材提示装置

○ スクリーン

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

○ 教科書に例示されている作品や、できあがった自分の作品を発表するときに使用する。スクリーンに大きく映し出すことで、全員の視線が一点に集中する。

5 指導計画

時	児童の活動	指導上の留意点
1	・作品のアイデアを膨らませ、制作への意欲をもつ。	・使用する物・用意する物（石・クレヨン 他）を確認する。 ・活動の前に、接着剤の使い方を指導する。
2	・作品を制作する。	
3	・鑑賞する。	

6 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
1	・教科書の作品を一点ずつ鑑賞し、自分の作品のアイデアを膨らませる。	・プロジェクター ・教材提示装置 ・スクリーン
3	・自分の作品を発表し、感想交流をする。	・プロジェクター ・教材提示装置 ・スクリーン

7 取り組み後の子ども達の変容や成果

第1時では、一つの作品を大きなスクリーンで、皆で一緒に見るため、作品制作の工夫や手立てが、わかりやすいうえ、共通理解しやすい。視線が集中することもあるが、教師の話もよく聞いていた。

第3時の作品発表では、自分の作品が大きく表示されることを喜んでいて、見ている側からも歓声があがり、多くの感想を交流することができた。

授業後に作品を廊下に展示したところ、友達作品や他のクラスの作品にも興味をもってじっくり見る姿が見られた。